

## 豊郷地区 山本自治会

### 「自分のまちは自分で守るをモットーに活動」

●加入世帯数：277世帯

●加入率：87.9%

### 活動内容

山本自治会は、地区内の犯罪の抑止と児童の安全を守るため、「自分のまちは自分で守る」をモットーに、山本交番と連携して、夜の防犯パトロールと児童の下校時見守り活動を実施しておりますが、その内容について紹介します。

#### ■夜の防犯パトロール

夜の防犯パトロールは、平成16年度に、役員と班長などで山本防犯パトロール隊を結成し、山本交番の協力を得ながら、定例的にパトロール実施しています。

毎月第2・4土曜日の午後7時から約30分間、管内を3コースに分かれて、1コース5人前後の隊員がパトロールを実施します。令和2年度は、パトロールを24回予定していましたが、コロナの感染防止や雨天のために、6回しか実施できませんでした。

隊員は、夜間でも目立つ蛍光ベストや帽子を着用し、赤色灯を持って、車両等に注意しながら行います。

また、役員と3名の協力者が、各コースの案内役になり、円滑かつ安全なパトロールに努めています。

さらに、雨天の場合でも運行できる青色回転灯車両によるパトロールを、拡声器による広報活動も行いながら実施しています。

#### ■児童の下校時見守り活動

山本管内の児童は、バスで通学しています。児童の安全確保や犯罪からの未然防止のためには、毎日の見守り活動が必要だと考えていますが、下校時の見守りは、育児や仕事の都合で保護者会だけでは難しい状況です。

これまで、昼の防犯パトロールと平成18年度に老人会の有志で結成された山本児童見守り隊により、見守りを支援してきました。

しかし、見守り隊は、毎日の見守りの負担や高齢化のため、隊員が数名に減少し、対応策が急務となりました。

そこで、令和2年4月に、児童の安全を確保しながら、見守り活動が継続できる方策について検討し、「ひとり週1回の下校時見守り活動計画」を策定しました。

工夫した点は、毎日の見守りの負担が重荷になり減少した経過を踏まえ、隊員の見守り回数を週1回に軽減したことです。

令和2年7月から、応募した22名の隊員により、見守り活動を開始しました。

なお、昼のパトロールは、活動内容が同じなので廃止しました。

令和3年4月には、班長や保護者会の協力により26名体制になりました。

見守り場所は、児童が下車する停留所を基点として、山本交番前交差点や市道504号線の交差点等の5か所です。

隊員は、防犯ベストと帽子を着用し、横断幕を持って、週1回指定された曜日と場所で見守りを実施しています。

隊員からは、「週1回の見守り活動という明確な目標ができた」「見守り場所が近く、時間が約30分と短いので続けられる」などの評価を頂いています。

自治会としては、これからも児童の下校時の安全確保に、少しでも貢献できるように努めていきたいと考えています。

#### 一人週1回の下校時見守り活動計画 2.4.1

##### 1. 趣旨

児童の通学路である市道504号線は、歩道もほとんどなく、交通量も多いため大変危険な状況です。事件事故は何時発生するかは予見できず、登下校時の安全確保のためには、毎日の見守り活動が不可欠であると考えています。

登校時の見守りは、育成会が行っています。しかし、下校時は仕事や子育てなどで忙しく、育成会だけで見守ることは非常に難しいと思います。

そのため、児童の下校時の見守りは、昼の防犯パトロールと山本児童見守り隊が支援してまいりました。

山本児童見守り隊は、平成17年の今市事件を契機に、翌年の4月に児童の下校時の安全確保を目的に、老人会の有志で結成された組織です。

当初は、15名の隊員で活動していましたが、毎日の見守り活動の負担や高齢化のため隊員が減少し、現在は数名となり対応策が求められています。

当会としては、これまでの取り組みと同様に、自分のまちは自分で守ることをモットーとしておりますので、自治会並びに各団体、山本交番等と連携して、児童の下校時の安全の確保に努めてまいりたいと考えております。

そのため、役員会で児童の安全を確保しながら、見守り活動の継続性を維持できる方策について検討し、「一人週1回の下校時見守り活動計画」を策定するものです。

##### 2. 見直し内容

・山本児童見守り隊の隊員を大幅に増員し、見守り場所を増設する。

・毎日の見守りを一人週1回の見守りに軽減する。

・見守り方法を、付き添いによる見守りから定点による見守りに変更する。

・現行の昼の防犯パトロールは、見守り活動が軌道に乗った場合は、廃止する。

##### 3. 効果

・地域住民同士の連帯意識や参画意識が向上する。

・児童の安全を守るといふ生きがいがある。

・家に閉じこもりがちな高齢者が外出する機会が増える。

・見守り隊員が毎日活動することで、犯罪の未然防止につながる。

##### 4. 実施主体

・組織名 山本児童見守り隊



## 加入率を維持する秘訣

班長から転入者の報告があった場合は、役員が速やかに転入者宅に訪問し、毎日の生活に欠かせないゴミステーションの利用や管理方法、自治会の活動を説明し、ご理解を頂きながら入会を依頼しています。